

北アルプス 白馬鑓温泉山スキー

今年ほど酷いシーズンは初めてだ。これほど雪が降らなかったのはこれまで経験がない。毎年5月最終週にスキー納めとして鑓温泉企画が立ち上がるが、今年はこの週末がギリギリだろう。通い慣れた長走沢からのアプローチは今年は無理だから途中まで登山道ね、とリーダーから連絡があった。

【日程】

2016年5月15日(日)

【メンバー】

田辺(シ)、坂村、ほか1

【地形図】

白馬岳、白馬町

【記】坂村

5月15日(日)：晴

途中まで明瞭だった登山道に雪が混じるようになってくると藪との闘いになった。ザックに板を付けて歩くのは重いし上の枝に引っかかるので標高1450mくらいから板を履く。板を履いたまま枝



雪さえあれば藪もへっちゃら

を乗っ越したりするのは慣れっこだが、跨ぐ回数が多すぎて快適さからは程遠い。それでも雪の上を歩くことがどうしようもなく愛おしいと感じてしまうのだから厄介だ。

小日向のコルから眺める鑓沢は雪がしっかりと付いていてホッとする。鑓沢出合までの滑降はいつもの通りのデコボコで足がとにかく疲れるが、それでも楽しいと感じてしまうのだから自分たちはなんだかどうしようもないなと思う。湯ノ入沢はしっかりと水が流れていたが、1か所だけ賞味期限ギリギリのスノーブリッジが架かっていて、板

を履いたまま渡ることができた。鑓沢出合から温泉までは1時間ほどだ。

「やだ、ビール忘れた」「持ってきたよ」「さっすがー！」きやいきやい言いながら水着に着替えて温泉に浸かる。裸で入っていらっしゃる先着者様の方は見ないようにして、柔らかいお湯と素敵な景色をこれでもかと楽しむ。身も心もいい感じに仕上がったら滑降準備だ。

時期が早いおかげだろうか、雪面は滑らかで落石も少なく、滑るのに快適そのもの。鑓温泉に何度も通っている二人も「こんなに状態がいいのは初めてだ」と嬉しそうにしている。途中で側壁の植物観察などもしながら、楽しく出合まで滑り降りた。

「うわ！ なくなってる！」例のスノーブリッジはとうとう賞味期限が切れたようだ。飛び石で沢を渡れそうもないので、覚悟を決めて渡渉する。できるだけ浅いところをできるだけ速く渡ったが、ブーツ内部への浸水は



利香さん、はじける

免れなかった。

コルまでの登り返しを終えると、いよいよ最後の滑りだ。滑りごたえのある斜度だが、斜面が



デコボコなので快適とは言いづらい。それでもどうかこうにか滑って楽しいのだから、やはり私たちはなんだかどうしようもない人たちなのである。

森に入ると藪が待っていた。できるだけ長板を履いていたかったが、滑るにはあまりにも危険なので早々に降参。ザックに板を取り付けながら、素晴らしいスキー納めができたことに感謝した。

シーズン最後の滑りを楽しむ

【行程】

猿倉 (6:45) ~小日向のコル (9:00) ~鑓温泉 (10:50/11:50)

~小日向のコル (13:30) ~猿倉 (15:30)

